

JIS

セラミック溶射

JIS H 8304 : 2024

(JTSS/JSA)

令和 6 年 2 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 水 孝太郎	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	株式会社 AIST Solutions
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 55.4.1 改正：令和 6.2.20

官 報 掲 載 日：令和 6.2.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本溶射学会

(〒577-0809 大阪府東大阪市永和 2-2-29 永和ビル 1 号館 TEL 06-6722-0096)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び記号	1
5 施工工程	2
5.1 一般	2
5.2 溶射加工品の構造、形状及び表面状態	2
5.3 前処理	2
5.4 溶射	2
5.5 後処理	2
5.6 屋外溶射作業	2
6 品質	3
6.1 一般	3
6.2 共通品質	3
6.3 用途別品質	3
7 試験方法	5
7.1 一般	5
7.2 外観試験	6
7.3 皮膜断面組織試験	6
7.4 皮膜厚さ試験	6
7.5 密着強さ試験	7
7.6 皮膜硬さ試験	7
7.7 耐熱衝撃性	7
7.8 耐食性試験	8
7.9 電気絶縁性試験	9
8 検査	9
9 表示	9
附属書 A (参考) 作業標準	10
附属書 B (参考) 耐摩耗試験	18
解 説	22

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本溶射学会（JTSS）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS H 8304:2017** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

セラミック溶射

Ceramic sprayed coatings

1 適用範囲

この規格は、部品、製品などに対し、耐摩耗性、耐食性、耐熱性、遮熱性、電気絶縁性を付与する目的で金属製素材へ施すセラミック溶射皮膜（以下、溶射皮膜という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 2110-2 固体電気絶縁材料—絶縁破壊の強さの試験方法—第2部：直流電圧印加による試験

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

JIS H 8200 溶射用語

JIS H 8250 溶射の記号による表示方法

JIS H 8260 溶射用粉末材料

JIS H 8261 溶射用の線材、棒材及びコード材

JIS H 8302 肉盛溶射（鋼）

JIS H 8401 溶射皮膜の厚さ試験方法

JIS H 8402 溶射皮膜の引張密着強さ試験方法

JIS H 8451 遮熱コーティングの熱サイクル試験方法及び熱衝撃試験方法

JIS Z 2244-1 ビッカース硬さ試験—第1部：試験方法

JIS Z 2371 塩水噴霧試験方法

JIS Z 8402-6 測定方法及び測定結果の精確さ（真度及び精度）—第6部：精確さに関する値の実用的な使い方

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS H 8200 による。

4 種類及び記号

溶射皮膜の種類及び記号は、次による。

a) 溶射を表す記号、溶射方法を表す記号、皮膜の厚さを表す記号及び後処理を表す記号は、JIS H 8250